



今日から2学期。1学期の終わりにお伝えした「大きな岩と小さな石」。人生は、時間は有限です。あなたの大切な、先に入りたいもの。何か、考えましたか。ぜひ、聞かせてほしいと思います。

さて、今年の重点目標は「努力、挑戦 + ～主体性を発揮し、目標の実現に向けて粘り強く取り組む学校～」。「主体性を発揮すること」は自分で考え、判断し、よい行動に移して、自分を成長させること。2学期、皆さんの主体性を発揮する場がたくさんあります。少しずつでも、実行していきましょう。

1学期末に学校評価を皆さんに書いてもらいました。それを分析し、よりよい2学期にしようと話されました。先生たちの「2学期の努力・挑戦+」を紹介します。「知」では、①分かりやすい学習課題を示します。②生活ノートのよりよい活用を生徒の一人一人に指導します。勉強の部分を生活面も含め、先生方、全員でパワーアップを図ります。「徳」では、庄中生が「仲間の努力・挑戦を後押しする言葉や行動を考え、実行できる」ような指導や支援をします。安心して活動するには、仲間の存在は大きいです。互いに応援し合い、認め合える集団にしていきたいと思います。最後に「体」。歯磨きの呼びかけで、歯を大切にできる 庄中生の歯磨きの習慣化を図ります。保健だよりを活用して、担任から指導・支援し、保護者にも協力をお願いします。

そして、明るく楽しい学校生活、笑顔があふれる生活を仲間とともに築くことを願っている人が多くいることが分かりました。生徒会活動、チーム活動の充実を図り、庄中生みんなで実現してください。誰かがしてくれるのではない、あなたが主体性を発揮して、考え判断し、よいと思ったことを実行して、学校生活を前進させます。主体性の発揮を期待しています。

ところで、皆さんに「二人の商人」というお話で、考えてもらいたいことがあります。昔、江州の商人Aと、他国の商人Bが、二人で碓氷峠の坂道を登っていました。焼け付くような暑さの中、重い商品を背負って、険しい坂道を登っていくのは、辛いことでした。途中、木陰で荷物を下して休んでいると商人Bが嘆いて言いました。「この山がもっと低いといいのですが。こんなにも苦しい坂を登るのであれば、商いをやめて、帰ってしまいたくなりますよ。」これを聞いた商人Aはにっこりと笑いました。「同じ坂を、同じくらいの荷物を背負って登るのです。あなたが辛いのも、私が辛いのも同じこと。だけど、私は、この碓氷の峠が、もっともっと、いや十倍も高くなってくれればありがたいと思います。そうすれば、たいていの商人は途中で帰るでしょう。その時こそ、私は一人で思う存分商売したいと思います」

さあ、この寓話があなたに伝えたかったことは何でしょう。どんな仕事にも、その仕事特有の苦労があります。この二人の商人は、体一つで登るのも大変なところ、重い荷物を運ぶ苦労があります。筋力や体力はもちろん、忍耐力も必要でしょう。この話から何を感じたか、先生やクラスの人と話してみてください。いろいろな考えが出てくると思います。

以前TVでみた「プロフェッショナル 仕事の流儀 宮崎駿スペシャル」が思い出されます。宮崎駿さん、知っていますか。となりのトトロなどのアニメ作品を作っている方です。

海外からも大きく評価され、芸術的でメッセージ性のある作品を世に送り出しておられます。番組の中で、意外だったのが、宮崎さんが「めんどくさい」という言葉を何度も口にされたこと。宮崎さんのような世界レベルのクリエイターには縁のない言葉だと思い込んでいたからです。宮崎さんの言葉に、「めんどくさいっていうのは、自分の気持ちとの闘いなんだよ」「大事なものはたいてい、めんどくさい」「めんどくさいが、やりがいを生み出す」、などがあります。



庄中生のみなさんも、努力・挑戦+、主体性を発揮しようとするとき、「めんどくさい」と思うことに会うと思います。それは、きっと成長したり、いいものができたりする前触れです。「いいこと」があなたを待っています。成果を上げている人も、多かれ少なかれ、「めんどくさい」と戦っています。

2学期、それぞれが命を燃やし、充実させましょう。「めんどくさい」を楽しみ、のり越え、成長していきましょう。みなさんに大きな期待をしています。